


中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2) ・ I-1-(5)-① (東京国立博物館) 1)、2)、3)								
担当部課	学芸研究部列品管理課	事業責任者	課長 沖松健次郎					
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 国内外の博物館等113機関に990件の作品を貸与した。								
2) 文化財活用センターと当館は共同で東京国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施した。国内の博物館等5機関に85件の作品を貸与した。 (東京国立博物館)								
1) 長崎歴史文化博物館等の平常展示のため、年度を越えた長期貸与を実施した。								
2) 海外の博物館等5機関に21件の作品を貸与した。								
3) 文化財活用センターと共同で東京国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施し、5機関に85件の作品を貸与した。								
【補足事項】								
(4館共通)								
2)								
日本及びアジアの歴史・文化への理解を進めるとともに、地方創生及び観光振興に寄与することを目指し、各開催館までの往復輸送費・保険料・職員出張費を負担する「東京国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。大規模貸与として、佐賀県立美術館に22件、奈良県立美術館に23件の当館収蔵品を貸出すとともに、広報費の一部も負担した。小規模貸与として、やないづ町立斎藤清美術館ほか2機関に当館収蔵品を貸与した。 (東京国立博物館)								
2)								
大韓民国国立中央博物館の特別展「朝鮮時代の僧侶職人」に1件、大韓民国国立中央博物館の特別展「漆：アジアを塗る」に5件、大韓民国国立中央博物館の常設展示「日本 仏教彫刻の世界」に5件を貸与した。								
3)								
当館収蔵品貸与促進事業のうち大規模貸与事業として、佐賀県立美術館 特別展「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」(会期：9月7日～10月17日)に22件、奈良県立美術館 特別展「生誕200周年記念 森川杜園展」(会期：10月10日～12月13日)に23件を貸与したことをはじめ、小規模貸与事業として、やないづ町立斎藤清美術館 2021年度(3年度)春季特別企画展「斎藤清とハニワ！」(会期：4月24日～6月6日)に6件、那覇市立壺屋焼物博物館 令和3年度那覇市立壺屋焼物博物館 特別展「がんばれ首里城！「うちなー“赤瓦”ものがたり」(会期：11月2日～12月26日)に18件、桑名市博物館「やまと絵のしらべ —帆山花乃舎と復古大和絵—」(会期：4年1月4日～3月18日)に16件を貸与した。								
【評価指数】項目	3年度実績	目標値	評定	経年変化	29	30	元	2
貸与件数	990件	-	-	年	914	1,355	954	806
うち国内の貸与件数	969件	-	-	変	783	1,225	864	794
うち国外の貸与件数	21件	-	-	化	131	130	90	12
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	国内外の博物館等113機関に990件の作品を貸与した。新型コロナウイルスの影響により2年度は機関数、貸与件数はともに減少したが、3年度は例年通りの件数に回復した。また、海外の博物館への貸与も実施することができ、国内外の展覧会の開催に貢献した。 貸与促進事業は、5機関に85件の収蔵品貸与を行った。また、来館者、メディアからは多くの反響があり、収蔵品の貸与と公開が各地域の創生・振興に寄与した。							
【中期計画記載事項】								
収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、中期計画に基づき、国内外の博物館等の出品要請に応じて、貸与を実施した。 4年度以降も文化財活用センターとの連携を深めるとともに、有意義な展覧会に貸与を実施し、国内外の博物館活動に寄与できるよう、協力依頼に積極的に応じる予定である。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)、(京都国立博物館) 1)、2)								
担当部課	学芸部	事業責任者	列品管理室長 羽田聡					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内の81機関(機関は延べ件数)に対し、計314件の収蔵品を貸与した。(館蔵品の貸与件数:191件、寄託品の貸与件数:123件) 2) 3年度に国立博物館収蔵品貸与促進事業で貸与した収蔵品は2件だった。 (京都国立博物館) 1) 京都国立近代美術館及び大阪市立美術館の平常展示のため、引き続き長期貸与する。 (館蔵品の貸与件数:182件 寄託品の貸与件数:87件) 2) 3年度は新たに愛媛県歴史文化博物館、徳島県立博物館、柏原市立歴史資料館の計3館との間で考古資料の相互貸借事業を実施した。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先施設の保管体制、警備体制、虫害対策等を総合的に判断しながら、先方の要望に応じた。								
								
愛媛県西条市丹原町 古田遺跡出土品 銅剣			徳島県小松島田浦町 字前山 77 出土品 埴輪			大阪府柏原市船橋遺跡 出土 弥生土器		
【定量的評価】項目	3年度実績	目標値	評定	経年変化	29	30	元	2
貸与件数	314件	-	-		349	289	348	286
うち国内の貸与件数	314件	-	-		336	274	347	286
うち国外の貸与件数	0件	-	-		13	15	1	0
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 年度計画に基づき、収蔵品の保存状況と貸出先のコンディションを勘案しながら、国宝・重要文化財を含む収蔵品を国内の博物館を中心に貸与を実施した。 また、3年度は3博物館との間で考古資料の相互貸借事業を実施し、各地域で出土した作品をその地域にある博物館で展示することができた。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 内外の博物館等の要請に応じて、作品貸与を実施することができている。 また、収蔵品の保管・展示状況と貸出先のコンディションを勘案しながら貸与先の博物館等に対する展示・保管環境等を十分に考慮したうえで可能な範囲で要請に応じることもできている。 以上から、中期計画を順調に遂行しているといえ、B評価が妥当であると考えられる。 更に、海外の貸与先についても十分に審議を重ねた上で収蔵品の貸与を行う計画を進めており、今後はさらに当館の持つ日本の文化の粋を海外にも発信できるよう努める。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与								
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)									
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟						
【実績・成果】 1) 館藏品と寄託品を合わせて22の機関に計252件の貸出を行った。 2) 収藏品貸与促進事業を行い、奈良県立美術館へ文化財を貸与した。									
【補足事項】 (4館共通) 1) 館藏品・寄託品の貸与 ・ 貸与先22件の内訳 国立3件、公立14件、私立5件、海外0件 ・ 貸与作品252件の内訳 国宝31件(所藏品4件、寄託品27件) 重要文化財52件(館藏品28件、寄託品24件) その他169件(館藏品149件、寄託品20件) 貸与した館藏品181件の内訳 (絵画45件、彫刻14件、書跡22件、工芸82件、考古13件、建築5件) 貸与した寄託品71件の内訳 (絵画36件、彫刻10件、書跡14件、工芸8件、考古1件、歴史資料2件) 2) 収藏品貸与促進事業における貸与・借用品数 ・ 奈良県立美術館 収藏品：1件(如意輪寺塔扉 模造 一隻)が特別展「生誕200周年記念 森川杜園展」で展示された。									
【定量的評価】 項目		3年度実績	目標値	評価	経年変化	29	30	元	2
貸与件数		252件	-	-	年 変 化	210	134	136	107
うち国内の貸与件数		252件	-	-		205	109	133	107
うち国外の貸与件数		0件	-	-		5	25	3	0
【年度計画に対する総合評価】 評価：A			【判定根拠、課題と対応】 貸与件数は、過去4年の実績と比較すると最も多くなった。中でも国宝・重要文化財が合計84件貸し出されるなど、各地の展覧会の開催に大きく寄与した。 また、収藏品貸与促進事業により、奈良の地にゆかりある館藏品を貸し出し、地域の展覧会事業へ貢献することができた。以上からA評価が妥当であると考えられる。						
【中期計画記載事項】 収藏品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。									
【中期計画に対する評価】 評価：A			【判定根拠、課題と対応】 作品のコンディション・相手機関の要望や展示収蔵環境を考慮して、柔軟な対応を行い、各地の展示施設の展覧会の実施に大きく貢献することができた。貸出実績については、過去4年の件数と比べ最大となっており、中期計画初年度として十二分な実績を残すことができた。以上からA評価が妥当であると考えられる。						



岐阜市歴史博物館 特別展「波濤を越えて」出品
国宝 金光明最勝王經 卷第五(当館所蔵)

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2) ・ I-1-(5)-① (九州国立博物館) 1)、2) 								
担当部課	学芸部文化財課	事業責任者	課長	原田あゆみ				
【実績・成果】								
(4館共通) 1)								
(九州国立博物館) 1)、2)								
国内19機関、海外1機関に計132件の収蔵品を貸与した(機関数は延べ数。東京国立博物館からの長期管理換品を含む)。								
館蔵品の貸与件数：109件(うち国宝1件、重要文化財3件)								
寄託品の貸与件数：23件(東京国立博物館からの長期管理換品を含む)								
【補足事項】								
(九州国立博物館)								
貸与先機関と貸与件数は下記のとおりである。(※印は2年度から3年度にかけて貸与)								
1) 国内の貸与先機関								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立機関 ※京都国立博物館1件、東京国立博物館16件 ・ 地方公共団体及び公立博物館・美術館(福岡県内) 甘木市歴史資料館3件(長期貸与)、伊都国歴史資料館4件(長期貸与3件、通常貸与1件)、小郡市埋蔵文化財センター5件(長期貸与)、求菩提資料館2件(長期貸与)、大野城心のふるさと館18件(2展覧会合計) (福岡県外) ※下関市立歴史博物館1件、※京都文化博物館3件、秋田市千秋美術館51件、やないづ町立斎藤清美術館1件、神戸市立博物館1件、北海道近代美術館3件、宮崎県立西都原考古博物館8件、米沢市上杉博物館2件、大分県立歴史博物館3件、愛知県美術館5件 ・ 私立博物館・美術館及び私立団体 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館1件、中之島香雪美術館2件 								
2) 海外の貸与先機関								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上海博物館2件 								
								
米沢市立上杉博物館 特別展「狩野派」出品 国宝 周茂叔愛蓮図								
【定量的評価】項目	3年度実績	目標値	評価	経年変化	29	30	元	2
貸与件数	132件	-	-		71	80	50	36
うち国内の貸与件数	130件	-	-		67	80	44	35
うち国外の貸与件数	2件	-	-		4	0	6	1
【年度計画に対する総合評価】				【判定根拠、課題と対応】				
評価：A				<p>2年度に展覧会を中止した出品要請機関から出品依頼があったことに加え、当館の染織コレクションを大々的に紹介・展示する展覧会が開催されたこと、さらに、文化財活用センターが実施する貸与促進事業での貸与も行ったことを受け、収蔵品の貸与件数は2年度と比較して大幅に増加した。また、福岡県内の博物館・資料館への長期貸与を行い、福岡や九州の文化財の魅力の地域発信に寄与することができた。新型コロナウイルスの影響もあったが、海外の博物館への貸与も実施することができ、当館の収蔵品が世界に紹介されることにつながったことから、年度計画を大きく上回る成果となった。</p> <p>以上、国宝1件、重要文化財3件を含む132件の文化財を適切に貸与し、各博物館・美術館の展覧会の充実化に十二分に貢献できたため、A評価とした。</p>				
【中期計画記載事項】								
収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】				【判定根拠、課題と対応】				
評価：A				<p>中期計画の初年度として出品要請機関の状況等を総合的に勘案して適切に貸与し、国内外の博物館・美術館の展覧会の展示の充実に大きく寄与することができた。</p> <p>当館の収蔵品を大規模に紹介する展覧会や貸与促進事業での貸与、海外の博物館への貸与、地域の博物館・資料館への長期貸与等、さらに国内外の博物館・美術館の展覧事業に協力することができたことから、A評価とした。</p> <p>4年度も引き続き、当館の収蔵品の魅力を広く発信していく。</p>				

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等								
【年度計画】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(5)-② (4館共通) ・ I-1-(5)-② (東京国立博物館) 									
担当部課	学芸研究部	事業責任者	部長 救仁郷秀明						
【実績・成果】									
(4館共通)									
<p>1) 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、98件の援助・助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 37件 文化庁、尾道市教育委員会、東京都江戸東京博物館、公益財団法人遠山記念館、薬師寺他 ・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 13件 国立歴史民俗博物館、長崎歴史文化博物館、永青文庫他 ・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 19件 山東博物館・徳州学院、遠野市立博物館、筑波大学他 ・ 講演・セミナー・審査等での協力 14件 韓国国立中央博物館、大和文華館、一般社団法人国宝修理装演師連盟、東京藝術大学大学院他 ・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 15件 京都国立近代美術館、国立国会図書館、京都市京セラ美術館、ミツカンミュージアム他 <p>また、3年度より新たに保管文化財に対する特殊な機材を用いた計測、非破壊による材質・成分等の調査、その他、特別観覧に該当しない撮影による調査等の外部からの調査協力依頼に対し、調査協力をする事業を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京国立博物館保管文化財の調査協力 8件 (件数については参考値とし、援助・助言件数には含めない。) 大阪大学、奈良県立橿原考古学研究所、出光美術館、元興寺文化財研究所、京都大学人文科学研究所他 (東京国立博物館) <p>1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、指導助言を行った。 環境調査を実施した新規貸与館は、14館。(参考：文化財活用センター貸与促進事業関係 3件)</p>									
【定量的評価】									
項目	3年度実績	目標値	評定	経年変化	29	30	元	2	
援助・助言等の件数	98件	-	-		138	131	139	78	
【年度計画に対する総合評価】			【判定根拠、課題と対応】						
<p>評定：B</p>			<p>3年度は緊急事態宣言発出に伴う移動自粛や借用辞退が頻発したため、2年度に比べると件数は減少した。しかし、そのような中でも例年同様に、公私立博物館・美術館で開催される展覧会や運営等についての援助や助言、新規貸与館への環境調査を行うことができた。</p> <p>新たに、従来の枠組みでは対応することができなかった博物館・美術館、大学、その他研究機関の要請に応じて、保管文化財の調査協力を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、全国の美術館・博物館から問い合わせがあり、当館の対策について説明するとともに助言を行った。</p>						
【中期計画記載事項】									
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。									
【中期計画に対する評価】			【判定根拠、課題と対応】						
<p>評定：B</p>			<p>今中期初年度となる3年度は、国内館はもとより、海外渡航制限を受けて、国外館はわずかであったが、技術的・専門的な援助・助言を適切に実施することができた。</p> <p>また、従来の枠組みでは対応ができなかった、近年の調査・分析技術の進歩による専門性の高い特殊な機器を用いての調査要請に応じる体制を整えることができた意義は大きい。</p> <p>4年度以降も、感染拡大防止に配慮しつつ、可能な限り積極的に対応し、文化財の保存活用に寄与していきたい。</p>						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-② (4館共通) 1)、(京都国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 尾野善裕					
【実績・成果】 (4館共通)								
1) 行政、公立博物館等の各種委員等への就任などを含め、博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を129件実施した。								
・ 文化庁、地方公共団体、公立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）								
文化庁文化審議会（文化財分科会）など官公庁の各種委員会への助言・協力								
京都府、滋賀県、三重県、静岡市、鳥取市などの地方公共団体の文化財保護審議会委員等として助言など								
・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言								
兵庫県立考古博物館、姫路市立美術館などの国内の博物館・美術館などへの展示指導など								
・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導								
南九州市世界の記憶推進会議アドバイザーとして協力など								
・ 講演・セミナー・審査等での協力								
京都大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、立命館大学、同志社女子大学、國學院大學など、大学の非常勤講師として協力など								
・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言								
京都国立近代美術館への協力など								
・ 博物館等への特別協力								
サントリー美術館開館60周年記念展、福井市愛宕坂茶道美術館特別展								
ウェブ会議システムを活用し、国際研修としてUNESCOチェアITC-DRMCHに協力し、京都国立博物館の展示・収蔵環境、減災対策などの安全対策への取り組みについて情報発信を行った。また知恩院と展示・保管環境に関する調査・研究について連携研究を開始した。文化財資料の保管環境に関する助言として、3年度は立像3軀について転倒防止対策に関する研究を実施し、社寺等への助言を行った。								
(京都国立博物館)								
1) 調査・国際連携室主任研究員 降矢哲男、企画室長 山川暁、保存修理指導室主任研究員 福士雄也を中心に、各分野研究員と畠山記念館学芸員とも共同で調査研究を行った。								
【補足事項】 (4館共通)								
1)								
・ 文化財の展示・保管環境に関する指導・助言：知恩院、三仏寺、法蔵禅寺、浄土寺								
・ 文化財の展示・保管環境・安全対策に関する講演・研修などでの協力：UNESCOチェアITC-DRMCH								
・ 文化財の調査・修理に関する指導・助言：林原美術館、琵琶湖博物館、京都府、丸亀市、鳥取県、染技連								
【定量的評価】項目	3年度実績	目標値	評定	経年変化	29	30	元	2
援助・助言等の件数	129件	-	-		168	140	152	137
【年度計画に対する総合評価】 評定：B				【判定根拠、課題と対応】 国内の様々な機関の要請に対し、職員が各々の専門性に応じて、129件の援助・助言・指導及び協力を行った。 文化財防災に関してウェブ会議システムを用いたリモート形式による、多国籍の研究者へ向けた発信ができた。研究者からは財政負担が大きい軽微なシステムや機器について積極的な意見が多かった。各国の状況によるが、多様な防災システムに関する情報発信が必要といえる。				
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評定：B				【判定根拠、課題と対応】 3年度も2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で制約が多く、国外機関への指導等はなかったが、援助・助言等の件数としては例年と比較しても遜色なく、多くの要請に応じることができた。この点から、中期計画初年度として計画遂行ができていているといえる。 引き続き、文化財防災センターとの連携協力を図るとともに、当館の防災対策の取り組みについても、国内外研究者との情報交換・人的交流を通じて広く発信していく。さらにシミュレーション等で得られたデータから、減災対策に関する基礎的研究を継続し、簡便に実施できる対策について検討していく。				

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】公私の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 ・I-1-(5)-②(4館共通)1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟					
【実績・成果】 (4館共通) ・援助・助言を68件実施した。 ・以下の展覧会に特別協力もしくは学術協力として援助・助言を行った。 九州国立博物館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物」4月20日～6月13日 新潟県立近代美術館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物」7月3日～8月29日 北海道立近代美術館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物」9月15日～11月7日 信貴山朝護孫子寺等主催 「信貴山秘宝展」 10月7日～10月12日 岐阜市歴史博物館 特別展「波濤を越えて—鑑真和尚と美濃の僧・栄叡」10月8日～11月23日 サントリー美術館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物」4年1月26日～3月27日 松濤美術館 「SHIBUYAで仏教美術—奈良国立博物館コレクションより」4年4月9日～5月29日								
【補足事項】 以下のとおり、援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公立博物館等の文化財関係事業に対する助言・協力 23件 宮内庁、文化庁、文部科学省、奈良県、天理市教育委員会、大津市教育委員会、神戸市教育委員会ほか ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 6件 新潟県立近代美術館、岐阜市歴史博物館、松濤美術館ほか ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 9件 法隆寺金堂壁画保存活用委員会、国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会ほか ・講演・セミナー・審査等での協力 18件 奈良女子大学、高野山大学、神戸大学ほか ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 12件 松伯美術館、大和文華館、日本工芸会ほか								
								
岐阜市歴史博物館 特別展「波濤を越えて—鑑真和尚と美濃の僧・栄叡」			サントリー美術館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物」					
【定量的評価】 項目	3年度実績	目標値	評定	経年 変化	29	30	元	2
援助・助言等の件数	68件	-	-		72	71	66	50
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 国内の様々な館の要請に対して、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に近い件数応じることができた。特に3年度は、当館の専門性を十分に生かし、各地の展覧会への援助・助言を活発に行った。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画の初年度として、コロナ禍にもかかわらず、国内の博物館からの要請に応じ、専門的・技術的な援助・助言を多数実施しており、中期計画を遂行できていると判断した。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(5)-② (4館共通) 1) ・ I-1-(5)-② (九州国立博物館) 1)、 2) 								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 河野一隆					
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 以下のとおり、公私立の博物館・美術館等に対する援助・助言を行い、年度計画どおり事業を実施できた。								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）(31件) ・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 (2件) ・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 (10件) ・ 講演・セミナー・審査等での協力 (9件) ・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 (25件) 								
(九州国立博物館)								
1) 古文書保存基礎講座については、実習を主とするため、新型コロナウイルスの影響を考慮し3年度も中止とした。								
2) 2年度に続き、オンラインIPM相談会を、3年度についても実施した。また、館内職員向けIPM研修は、新型コロナウイルス予防対策を講じつつ人数を減らして2度に分け、実施した。								
								
オンライン IPM 相談会				館内職員 IPM 研修				
【補足事項】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月23日及び7月13日に館内職員向けのIPM研修を実施した（会場：当館、受講人数：計20人）。 ・ 10月20日～22日にオンラインIPM相談会を開催した（対応施設10施設、各施設1時間ずつの枠で実施）。 								
【定量的評価】項目	3年度実績	目標値	評定	経年変化	29	30	元	2
援助・助言等の件数	77件	-	-		105	72	86	81
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	<p>実習を主とする古文書保存基礎講座については、新型コロナウイルスの影響により中止したが、文化財関係事業に関する助言・協力や、博物館運営への援助は引き続き協力できた。IPM相談会についてはオンライン開催した。また、館内IPM研修は、人数に制限を設けることで実施できた。</p> <p>2年度に引き続き日本全国の要請に対応し、77件の援助・助言を行い、年度計画を達成できた。</p>							
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	<p>新型コロナウイルスの影響により中止した講座があったものの、3年度も全国の博物館、美術館、文書館等からの要請に応じて指導、助言を行ったことで、中期計画を遂行できている。</p> <p>今後もオンライン等を活用したセミナーや研修等を実施し、博物館関係者との情報交換を適切に行う。</p>							